

2022年7月12日発行

22-28号

（http://www.jremnant.com/）

現場から（最近のニュースから）

**それ、ほんとうですか**

　ネットで情報を調べることが多い時代です。ネットではうそがたくさん出ているので、気を付けなければならないのは、多くの人が知っている事実です。しかし、うそであることが見抜けない場合もあります。中国語版Wikipediaに数百万語に及ぶ「架空のロシアの歴史」が含まれていて、その記事は、たった1人の女性によって記され続けていたことが判明したというニュースがありました。虚偽が判明したので、中国語版Wikipediaの項目はほとんどが削除されるか、正しいものに修正されているそうですが、一部の記述は、英語やアラビア語、ロシア語、ルーマニア語のWikipediaにも翻訳されていて、削除されずにいるということです。

　中国語版Wikipediaの記述によると、「Kashen銀鉱山は13世紀～15世紀に存在したトヴェリ大公国が開いた銀鉱山であり、約3万人の奴隷と約1万人の解放奴隷が働く当時としては世界最大規模の産業の1つだった」とあったそうです。その記述に興味をもった中国のファンタジー作家であるYifan氏がロシア語の資料や、あらゆる歴史を調べたそうです。調査を重ねた結果、Yifan氏は「そもそも『Kashen銀鉱山』など存在しなかった」という結論に至ったということです。Kashen銀鉱山に関する一連の記述は、実在する歴史上の事柄や人物と混ざり合っており、戦争や経済など多岐にわたる記述も非常に詳細で、百科事典にそのまま収録できるような硬い文体だったため、真実と虚偽を見分けることは非常に困難だったとYifan氏が語っているそうです。その記事を書いたのはひとりの女性で、４つのアカウントを使い回して、すべてを作り上げて執筆していたということです。その女性は、2010年ごろ、実在する清の政治家・ヘシェンに関する「偽のエピソード」を執筆し、やがてロシアの歴史に目を向け始め、2012年にロシア皇帝アレクサンドル1世の記事を編集して以降、徐々に想像で作り上げた「架空のロシアの歴史」を中国語版Wikipediaに広げ始めたということでした。最初に書いた２つの嘘をなんとかごまかそうとして、10年間にわたって、最終的に、中国語版Wikipediaに206件にも上る記事を書き、数百もの関連記事を編集して、架空のロシアの歴史についての総文字数は数百万語に及んだそうです。（6月30日Gigazine＜Wikipediaに「架空のロシアの歴史」を10年にわたり1人の女性が書き込み続けていたことが判明、「小説家になるべき」との声も＞より）

　ネットだけではなく、私たちが触れる情報は、ほんとうかどうか分からないことが多いです。ますます簡単にバーチャル世界に触れることができるようになって、嘘かまことか、いよいよわけが分からないことが多くなっています。ロシアの歴史なら、嘘であっても、生活には関係ないかもしれません。しかし、生活の根幹になること、思想の中核になることが、ほんとうではないなら、人生全体が嘘の上にあるので、最終的に崩れます。真理の上にしっかりと立ち、その中で、真理によって見分ける人生を歩みたいと思いますか。その真理について、あなたにお分かちしたいのです。

救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になり、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをして、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。

それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。

神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に出会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス･キリストです。イエス･キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してくださり(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(Ⅰヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス･キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。

もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス･キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス･キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを

認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の

神様として受け入れます。私の罪を赦してくださり、私を救ってくださったことを感謝

いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・

キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください